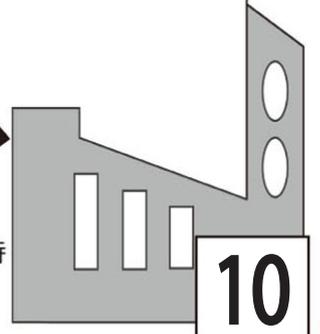


カトリック大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日) 7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

〔ホームページ〕<http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

8月15日



コロナ禍の中、主日のミサは4回に



お話：聖母マリアの被昇天の祝いは、神に従って人生の道を歩む人は、永遠に神の内に生きることが約束される喜びです。「平和旬間」は、日本の教会の宝です。この間に平和を祈り、平和について考え、話し、平和のために働く決意を新たにします。平和を祈る人は、平和のために働く人になる、と。

8月15日、聖母被昇天のミサをアベイヤ司教様と



ペトロ船津亮太神父様大名町教会で初ミサ

7月23日に久留米教会で司祭に叙階された船津神父様の、大名町教会での初ミサが8月2・3日に行われました。初祝福をくださる神父様。

今年の9月



勉強会

船津亮太神父

毎週木曜日

休講中

再開は未定です。

10月

ロザリオの月

◇キリスト教講座Ⅱ期 休講中。

・金曜コース：休講しています。

・水曜コース：休講しています。

*キリストの光に気づくために！

*どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟：希望者は、個別に司祭に依頼してください。

9月末「中央区花いっぱい運動」があり、道路沿いのポットはキンセンカと撫子の橙、黄、赤、紫、青色で華やかです。土を掘り返すと黄金虫の幼虫、ミズ、ダンゴムシやらがわんさか、わんさか。「ああ、君たちはこんな大都会でもこうやって健気に命をつないでいるのか」と正直驚きました。一緒に作業していた信徒の方が「人間が自然を支配するというキリスト教の価値観が自然をダメにしたのだと聞いた」と仰いました。すなわち「海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ(創1・28)」を根拠としてキリスト教が自然破壊をしてきたという告発です。「ラウドアート・シ」で、パパ様は地球を傷つけてきた自分たちの行いは悔い改められるべきだとしつつも、「(人は園を)耕し、守る(創2・15)」を引用し、働きかけ、世話をし、保護することこそ本来の役割であると言います。またアシジの聖フランシスコに倣い「どんな小さなものでもあらゆる被造物は自分の兄弟・姉妹である」と感じる精神を持ちたいとも述べます。花も黄金虫の幼虫も、ミズも、ダンゴムシも…。10月4日に「すべてのいのちを守るための月間」は終わりますが、軌を一にするかのように福岡市は10月より事業者を対象として「古紙」を「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」と別にして回収することになりました。限りある地球資源を大切にすために、すべてのいのちを守るために、出来ることから行っていききたいものです。

カトリック大名町教会
協働司祭 ペトロ 船津亮太

ダンゴムシと言えど、
ミミズと言えど…

「信者であろうとなかろうと、今日、地球は本質的に共有の財産であり、その実りは誰にとっても有益なものであるということに同意します。」

Laudato Si, 93, Pope Francis

健全な地球を護るのは、私たちみんなのしごとです。

CHOOSE YOUR DAY in 2020 : 2020年、あなたの一日を選んでください。

行動を起そう : 私たちの海を破壊するプラスチックと有毒廃棄物の危機に直面して、湖や川や海、世界のすべての人々が地球の水へのこれ以上の損傷を排除するために行動することが求められています。すでに受けた被害を一掃するためにも。

すべてのいのちは相互関係にあります。同様に、私たちの水資源に入る汚染物質の大部分が陸上での活動に起因しているという点で、すべての汚染は相互に関連しています。海岸線や遠くの内陸に沿った人間の活動は私たちの海の健康に影響を与えます(米国海洋大気庁)。

今あなたがわたしができる事 :

- ・ 最寄りの海岸、湖畔、または川岸で、また道路や溝に沿って、公共の場でプラスチックやゴミの清掃イベントを開催しましょう。
- ・ プラスチック廃棄物危機について一般の人々に教育するイベントを開催しましょう。
- ・ 廃棄物が水系に入り込む可能性がある環境条件の影響を受けやすい地域では、より良い埋め立て処理を推奨してください。
- ・ 使い捨てプラスチックの排除と、使い捨てプラスチックの再利用とリサイクルを推進する。

自分のやり方を変える :

- 1) 自分自身のプラスチック製品の使用を減らす。
- 2) できるだけ頻繁に自分のプラスチック容器を再使用する。
- 3) 使用できなくなったプラスチックをリサイクルする。
- 4) リサイクルする前に、プラスチックが汚染されていないことを確認しよう。

☆ 上記のメッセージは、フランシスコ教皇様の回勅“ラウダート・シ”を受けて、世界カトリック女性の団体から世界各地のカトリック女性の会への提案です。

「すべてのいのちを守るための月間」に因んで、私たちにできることを一つでも行動できたらと思います。福岡教区福岡地区女性の会も協賛しています。



感謝のこもった
千羽鶴は2つの病院へ

- ・ 9月25日 インマヌエル 松本 猛
- ・ 9月24日 マキシミリアノ マリア コルベ 平馬 義昭
- ・ 1月5日 マリア アグネス 平川 芳子
- ・ 【帰天】 ヨセフ グエンヴァンキャン 平馬 義昭
- ・ 【洗礼】 マキシミリアノ マリア コルベ 平馬 義昭
- ・ バキタ 中牟田 由美
- ・ マリア クララ 七美
- ・ マリア インマクラータ 陽向 (浄水通教会)
- ・ マリア ヴェロニカ 田代 朗子 (光丘教会)
- ・ 【転入】 (教会から) ラファエル 奥羽 樹生 (古賀教会)

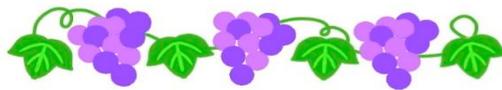
大名町教会 9月の現勢



ご長寿の日 おめでとうございます！

今年は、それぞれの場所から
笑顔と感謝を
お届けしたいと思います！
これからも、神様のおめぐみが
皆様のうえに
たくさんありますように。

教会学校 一同



過去の写真も入っています



コロナ禍で教会へ思うように関われない今、子ども達の元気な姿を届けることで教会とのつながりを感じ、少しでも明るい気持ちになっていただけたらと思い作りました。カードの作成に協力して下さった皆さんを通して人の暖かさや教会のつながりを再確認し嬉しかったのです。そんな気持ちを込めて、カードの中にブドウの木の一節をいれました。私達はどこにいてもイエス様を通してつながっていて、お互いの幸せを祈っています。でも、やっぱり、顔を合わせて沢山おしゃべりしたいので、一刻も早いコロナの終息を願っています。

リーダー 荒牧結花

宣教司牧評議会

検討事項
 1. 『すべての命を守るための月間』の大名町教会における取組について

決定事項
 ①食品ロスやゴミ問題に関する研修を行う。10月18日10時30分ミサ後、大聖堂にて実施予定。

②使用済み切手を収集し、得られる寄金を育成団体に送金する。
 ③ 聖堂入口に設置。

2. 消防訓練について
 ・日程：10月11日(日) 10時30分ミサ終了後実施。

3. クリスマスについて
 ①出される予定の教区方針の決定に基づき、人数制限、典札など検討予定。

②飾りつけ
 11月29日(日) 10時30分ミサ終了後、各担当者に依頼。

③チラシとクリスマスカード
 例年より印刷部数削減検討。

④ミサパンフレットは、ベトナム語の取り寄せも検討する。

4. 七五三の祝福について
 ・日程：11月15日(日) 10時30分のミサにおいて。

5. 初聖体式について

・日程：11月22日(日) 10時30分ミサにて実施。対象者6名(日本語ミサ4名、英語ミサ2名)。

6. サクリスタチア会の有志による依頼の件
 ・侍者服、聖体奉仕者服を洗うために洗濯機購入依頼の要望について検討する。

7. 清掃業者による清掃について
 ・エアコンの清掃と講堂のカーペットのカビ清掃について専門業者からの見積もり実施。

8. 信徒の退堂方法について
 ・3密を防ぎ、感染予防対策として、ミサ前後に司会者からの退堂案内に従う。

報告事項
 1. アベイヤ司教様からの問いかけについて
 ・福岡教区として特に大切にすべきことの意見を出し合いそれをまとめる取り組みを行う。

2. 10年度の宣教司牧評議会にて検討。
 ・信徒総会の意見への対応について

3. 9月13日主日ミサのお知らせ時に、主な点について説明した。

4. 折り鶴について
 ・医療従事者への感謝とコロナ終息を祈り、各方面にお

届けした。
 4. 「こじか」の購読について
 ・対象者は、小学生29名。中高生については、年齢に合わせたテキストを検討中。
 5. 大聖堂空調配管工事について
 ・工事日程：10月末までに完了予定。
 ・具体的な予定が決まり次第、工程表など詳細は、お知らせにて案内。

会長のつづき ロザリオの月

いばらの山路涙の谷に、救いのみ手に、清く輝くロザリオの珠。令和2年、10月、神無月になった。歳々年年人同じからず。毎年毎年人々の顔ぶれも変わるのに、花は同じように咲き、収穫の時が訪れるこの大地。この1年新型コロナの感染拡大により、私たちの社会的な生活も、信仰生活も大きく変わってしまった。職を失った人、学校に行けなくなった人、閉じこもりで足腰が弱くなった人、ナーバスになり笑顔がなくなった人、ピンチをチャンスに変えた人、病気になる人、そして、天に召された人が身近におられます。

ある老婦人より涙の手紙をいただきました。病に倒れ、半年以上の闘病生活、コロナ禍で誰にも会うこともなく、御聖体もいただくこともなく退院。半身不自由な体で家中でできる限りのリハビリ。電話口に出るのにも時間がかかり、他者との関りも遮られてしまうような息子さんとの生活。
 昨年の元気なお姿の長寿のお祝いの写真を送って差し上げました。『皆さんのお顔を思い起こし、その方々や主任神父様、山頭神父様のために祈りしています』と書かれていました。
 『今は、毎日3環、主日の日は5環、ロザリオのお祈りをするのが仕事です。』と。
 『仕えられるためではなく仕えるために来た』イエス様のことば。祈りを通して神様に仕えるお姿が目に見え、皆様もお一人お一人を思い起こし、コロナ禍で苦しむ方のためにお祈りし、教会にも行けない、会えない、動けない方々に電話やメール、お手紙などで兄弟姉妹の絆をさらに深めていくことができますように。アーメン。

大名町教会信徒会会長
 F・ザベリオ 濱崎 公夫